

こどもあさご未来会議のまとめ

1 開催日・開催場所等

	開催日	開催場所	参加者	開催形式
学校開催方式	7月14日（火）	生野高校	3年生	対話
	6月17日（水）	和田山高校	2年生	対話
	7月17日（金）	生野中学校	3年生	対話
	7月1日（水）	和田山中学校	3年生	対話
	6月29日（月）	梁瀬中学校	2～3年生	対話
	7月15日（水）	朝来中学校	1～3年生	対話
自由参加方式	6月28日（日）	山東生涯学習センター	未就学児	絵・インタビュー
			小学1～3年生	絵・インタビュー
			小学4～6年生	対話
			中学1～3年生	対話
			子育て当事者	対話

2 テーマ（対話内容等）

こどもの権利や遊び・学び・体験活動について

3 意見内容

（1）こどもの権利等全般的なこと

中学生

- ・ 一人ひとりがのびのびと過ごせる。
- ・ 自分らしくいられる。
- ・ いじめがない状態。
- ・ 安心して思いっきり遊ぶことができる。
- ・ やりたいことにチャレンジできる。
- ・ 制約なく好きなことに打ち込める。
- ・ 知的好奇心を広げ深めることができる。
- ・ 困ったときに頼っても良いと思える。
- ・ 安心して意見を言える環境や地域社会。
- ・ 自分の気持ちを伝えること。

高校生

- ・ 自分らしくいることができる。
- ・ 自分のことは自分で決める。
- ・ 自分の想いが実現できる。
- ・ 自分がやりたいことを大人から邪魔されない。

子育て当事者

- ・ 誰でもどこに住んでいても実現できている。

(2) こどもの居場所について

①現状やこどもの居場所の必要性

小学生

- ・ 山東庁舎、自治協、マインホール、生野駅などは行けば誰かがいる場所。
- ・ 雨の日は家で遊んでいるが、友だちと過ごせる場所があったら良い。
- ・ 雨の日でも室内で遊べる場所があると良い。

中学生

- ・ 今は小学校かイオンに集まっている。
- ・ イオンしかないので電車で市外へお出かけすることが多い。
- ・ 山東支所は良い。自習ができる。勉強を教えてもらえる。
- ・ マインホールは遊ぶ人も多く勉強がしづらい。
- ・ 勉強スペースが近くにない。
- ・ 部活がなくなったあと放課後に過ごすところがない。

高校生

- ・ 大人数でも一緒に居ることができる（イオン等だと好ましく思われていない気がする）。

子育て当事者

- ・ こどもの家が離れていてこども同士が集まる手段がない。
- ・ 家に帰ると一人で遊びに行けない。
- ・ 交流サロンふらはイベントがあると使えない。

②こどもの居場所の過ごし方、役割

小学生

(サードプレイス)

- ・ こどもだけで過ごせる場所が欲しい。
- ・ 大きな声が出せることができる場所があると良い。

(興味関心を広め深める場)

- ・ 同じ趣味や気の合う人とで出会える。
- ・ こどもも大人も参加できるサークルがある。

中学生

(サードプレイス)

- ・ 安心して居ることができる。
- ・ こどもだけの居場所がほしい (ゾーニング)。
- ・ こどもだけで集まれる場所が良い。(大人の同席が不要である)
- ・ 気を遣わずに自分らしくいられる場があると良い。
- ・ いつでも自由に遊べる場。

(友だちと過ごす場)

- ・ 色々な遊びをみんなでやりたい。
- ・ 涼しいところで遊びたい。
- ・ 友だちと気軽に遊べる場所が欲しい。

(勉強する場)

- ・ 話し相手がいるほうが良い。友だちと話せるのが良い。
- ・ 興味に応じて学びたいことを学べる場があると良い。
- ・ 勉強をしたり相談相手がいったりして気軽に立ち寄ることができる。
- ・ 気軽に話したり勉強できたりする場所があると良い。
- ・ 友だちと話しながら勉強できる場所が良い。図書館ではおしゃべりができない。
- ・ 勉強を教え合いながらできる静かな場所が欲しい。
- ・ 静かに勉強したいときもあるが、うるさくなくても良いところも欲しい。
- ・ 友だちと勉強を教え合えると良い。図書館は静かにしないといけないので教え合えない。

(つながりが生まれる場)

- ・ 色々な人と話ができる。
- ・ 他校や大人の人と交流できる場所。
- ・ 他校の人と交流できる場所があると良い。
- ・ 他校の人としゃべったりできる場所が欲しい。
- ・ 他校の人と交流がしたい。

(興味関心を広め深める場)

- ・ 興味関心がある分野に関心がある人と話がしたい、つながりたい。
- ・ 生物仲間で集まると良い。
- ・ 共通の趣味で集まれる場所があったら良い。(年齢問わず)
- ・ 趣味なのでつながりたい人とつながれる。
- ・ 大人など長けている人にもつながれる。
- ・ 自分と同じことを学びたいと思っている人と交流ができる。

(気軽に相談できる場)

- ・ 相談しやすい環境が良い。
- ・ 友だちと話すときは空気を読むことも。

- ・ 友だちに話せることと反せないことに分かれる。友だちと話せないことを話せる大人に出会いたい。
- ・ 自分自身では解決できないことを相談して聴いてもらえる人がいる。
- ・ 行けば友だちや大人などに誰かに出会える場所があると相談しやすい。
- ・ 困っているときに安心して相談できる人がいる。
- ・ 相談しやすい環境が大切。
- ・ 秘密が守られ親や先生以外に相談できる人がいる（AI は肯定ばかりで偏りがあるのではと不安）。
- ・ 学校や親に言わずに相談できる場所や人がいる。
- ・ 相談しやすい人がいると良い。
- ・ 悩みの内容に長けている人や秘密を守ってくれる人がいると相談しやすい。

高校生

（サードプレイス）

- ・ 一人でゆっくり居ることができる（一人で居たいときも気兼ねなく居られる）。
- ・ ホットとできる。

（つながりが生まれる場）

- ・ 様々な人と交流することで、自分の趣味ややりたいことに出会えるのではないかなと思う。新たなことに出会える機会になる。
- ・ 勉強や部活、社会で活躍している人など色々と秀でている人と出会い、話をしたい。刺激や学びが得られ自分も頑張ろうという気持ちになれる。
- ・ 様々な人と出会え、話すことができる（友だちからは得られない学びがある）。
- ・ 他校の人たちと出会える。

（興味関心を広め深める場）

- ・ 興味関心が同じ人たちとつながりたい。
- ・ 同じ趣味の人に出会い、つながりたい。

（気軽に相談できる場）

- ・ 地域クラブなどで出会う地域の大人の人との雑談などから得られることは多く、自然と相談につながることもある。
- ・ 先生や家族以外の大人の人と雑談しながら気軽に相談したり、アドバイスを得られたりすると良い。
- ・ 安心して悩みを相談できる（チャッピーは自分の悩みを口外しない）。

子育て当事者

（サードプレイス）

- ・ こどもが安心して居ることができる。
- ・ いつでも使うことができる。

（つながりが生まれる場）

- ・ 小学生も中学生も高校生もいろんな世代が集まれる。

③こどもの居場所づくりに向けて

小学生

（公共施設の活用）

- ・ 公共施設で空いている時間など使えると良い。

中学生

（活用のしやすさ）

- ・ 居場所は入りやすいことが大切（グループができていない、静かすぎない、笑顔で迎え入れてくれる、オープンな雰囲気）。

（学校帰りに行くことができる場）

- ・ 学校帰りに直接行くことができる（今は一旦帰宅してから行かなければならない）。
- ・ 学校帰りに寄れる場所が欲しい。

高校生

（公共施設の活用）

- ・ 公共施設を活用して高校生等の居場所になればよい。

（活用のしやすさ）

- ・ 無料で居ることができる（お店なら飲み物など買わなければならない）。
- ・

子育て当事者

（活用のしやすさ）

- ・ 参加のハードルが低く、気軽に行くことができる。

（３）こどもの遊び・学び・体験について

①こどもの遊び・学び・体験の現状

小学生

（自由時間の減少）

- ・ 宿題が多すぎる（特に土日曜日）。
- ・ もっと自由に遊べる時間が欲しい。
- ・ みんな忙しく、友だち同士で予定を合わせるのが難しい。

（遊び場の少なさ）

- ・ 和田山駅前の空き地で遊びたい。近くに遊べる公園がない。

（安全性の確保とルール）

- ・ 川遊びがしたいが円山川は大きくて遊べない（家の近くに川遊びできる川がない）。

中学生

（少子化）

- ・ こどもの人数が少なくスポーツによって人数が揃わない。

(自由時間の減少)

- ・ 水曜日と日曜日以外は部活があり忙しい。
- ・ 遊べる時間がない。
- ・ 自由な時間が少なすぎる。
- ・ テストが多く勉強ばかりで遊ぶ時間がない。

(遊び場の少なさ)

- ・ 運動ができる場が少なく今は小学校のグラウンドを使っているが、小学生が使っていると遠慮する。
- ・ 小学生用ではなく中学生や高校生が遊べる場所（グラウンドなど）が欲しい。

(体験の機会の少なさ、地域格差)

- ・ 興味関心のある分野の詳しい人に出会う場がない。
- ・ 体験できる場が少なく自分のやりたいことや得意なことが分からない。
- ・ 地域や住んでいる場所によってできることに違いがある。

(安全性の確保とルール)

- ・ 「危ない！」って言わないで欲しい。
- ・ 一人で山や川に行けない。「危ない！」って言わないで欲しい。
- ・ 「危ない」「危険」は管理責任等の大人の都合でしかない。
- ・ 学校の決まりがあり川遊びができない（実際はルールを破って遊んでいる）。
- ・ 危険な体験をとおして危険だと分かり、学ぶことも大事。
- ・ 「自然で遊ぶな、危ない」と言われても遊ぶところがない。
- ・ 危機管理は自分でできる。こども扱いしないでほしい。
- ・ 川遊びをしたいが危険が多く、こどもだけで行くことができないルールになっている。

高校生

(遊ぶ機会の減少)

- ・ ゲームが多くなり、外遊びを通して学ぶ機会や成長できる機会が減少している。

子育て当事者

(少子化)

- ・ 生野地域だけだとこどもが少なすぎる。

(体験の機会の少なさ、地域格差)

- ・ 大人自身が遊び方を知らない。
- ・ こどもの体験や習いごとに地域差があるが、都市部と比べて体験・学びが充実している。
- ・ 家庭環境に関わらず朝来市のなかでもできる・できないの差がある。

(安全性の確保とルール)

- ・ 昔はこどもだけで遊べたが、今はこどもだけで遊べない。
- ・ まちの人も減ったので見守りも少ない。親は不安なので留守番をさせてしまう。
- ・ 学童保育は屋内だけしか遊べない。

②こどもが希望する遊び・学び・体験

小学生（低学年）、就学前児童

（自然の中で遊ぶ、体験活動）

- ・ 生き物がいる川
- ・ 秘密基地やツリーハウス
- ・ 動物とのふれあい

（体を動かして遊ぶ）

- ・ 大きなすべり台
- ・ 広い芝生
- ・ 大きな遊具（すべり台、ブランコ）
- ・ スポーツ施設（運動場、体育館、プール等）

小学生

（自然の中で遊ぶ、体験活動）

- ・ 生き物のために海や川のゴミ拾いボランティアをしたい。
- ・ 絶滅しそうな生き物（花、虫）を保護したい。
- ・ 誰でも山に入れるようになれば良い（虫捕りや工作などをしたい）。
- ・ 自然を増やしたい。今の山は遊べるようになっていない。
- ・ 魚のつかみ取りをして、焼いて食べたい。
- ・ 自然のものをみんなで食べ物を作って食べたい。

（農業と遊び・体験）

- ・ 田んぼでどろんこ遊びがしたい。夏は気持ち良い。
- ・ 農園クラブを作り、大人と一緒に野菜や花などを作ったり売ったりしたい。
- ・ 農業でつくったものを売ってみんなのために使いたい。

（地域のまつりやイベント）

- ・ 和田山地蔵まつりの屋台を復活してほしい。

（地域資源を生かした学び・体験）

- ・ 普段見ることができないところを見学できるイベントがあるとよい。

（新たなことへのチャレンジ）

- ・ 自分たちでお店を作ってやるのは楽しそう。
- ・ 本が高いので、本やおもちゃなどを地域で安く売ったり買ったりできるフリーマーケットのようなことをしたい。
- ・ この場で出たアイデアをみんなでチャレンジがしたい。

（学校での学び・体験）

- ・ 中学校で部活がなくなるので、部活を復活してほしい。
- ・ 学校でいろいろな体験ができて楽しい。

（学びや体験施設）

- ・ 博物館や美術館が欲しい。知らないことを知りたい。
- ・ 市内・県内の博物館に行けるチケットが欲しい。

中学生

(自然の中で遊ぶ、体験活動)

- ・ 生き物を捕っていることを大人は注意しないで欲しい。
- ・ 川遊び用にライフジャケットの貸し出しがあると良い。

(地域のまつりやイベント)

- ・ 和田山地蔵まつりを復活してほしい。
- ・ 和田山地蔵まつりで出店したい。
- ・ イベントなど楽しいことが多くあると良い。息抜きができる。

(スポーツなど体を動かして遊ぶ)

- ・ 自由にスポーツができる場所が欲しい。
- ・ 自由に運動ができるスペースが欲しい。
- ・ 自由に運動ができる居場所が欲しい。
- ・ 部活以外でスポーツして良いところが欲しい。
- ・ 近くに体を動かすところが欲しい。
- ・ 周りの人に文句などを言われずスポーツできる場が欲しい。
- ・ 屋内でも屋外でも良いのでバスケットをする場所が欲しい。
- ・ テニスコートが少ない。練習できるところがない。
- ・ 学校のテニスコートを部活動以外の時間も使えると良い。
- ・ 中学校のテニスコートは整備さえすれば部活動以外のメンバーも使用できるので良い（生野中学校）。
- ・ サッカーや野球などスポーツが気軽にできるところが欲しい。
- ・ 体育館を借りて練習をしているが、使用申請や費用がかかる。
- ・ 施設を借りるときは使用申請が必要なので計画的でないといけない。その場であつまったメンバーで気軽に施設を借りて遊ぶにはハードルが高い。
- ・ 施設利用は事前申請が必要である。気軽にスポーツができる場所があると良い。

(音楽を楽しむ場)

- ・ 楽器を演奏できる場所があれば良い。
- ・ 楽器を自由に練習したい。
- ・ 気軽に楽器の演奏ができる場が欲しい。

(新たな学び・体験の出会い)

- ・ 自分の知らないことや興味をもったことを知ることができるような機会が欲しい。
- ・ 興味関心のある分野の詳しい人と出会う場がない。話を聴いてみたい。もっと関心が広がる。
- ・ 興味関心がある分野に関心がある人と話がしたい、つながりたい。
- ・ 共通の趣味の大人に出会え、色々と教えてもらいたい。
- ・ 体験できる機会がないため、自分が何に得意かわからない。気軽にいろいろと試せる場があれば良い。

- ・ ものづくりが好きなので教えてもらいながら自由にものづくりができる場があったら良い。
- ・ 気軽に様々なスポーツや文化的なことができると良い。部活動への入部はいきなりハードルが高い。
- ・ 今までにしたことのない新しい体験ができる。
- ・ 色々な種類の習い事があれば参加したい（ボクシングなど）。

(新たなことへのチャレンジ)

- ・ フリーマーケットを開催したい。
- ・ どのようなボランティアに参加できるのかわからない。こども園のボランティアに参加したい。

(外国人との交流)

- ・ 国際交流の日数が限られている。に数を増やして欲しい。
- ・ 在住外国人の方と交流がしたい。

(学校での学び・体験)

- ・ 自主練習ができる場所がないから部活動の時間を増やして欲しい。

高校生

(自然の中で遊ぶ、体験活動)

- ・ 山で遊ぶことは楽しいだけでなく、危険を知ること。

(スポーツなど体を動かして遊ぶ)

- ・ 体を動かして遊ぶ場が少ない。社会体育施設は事前申請が必要であり計画的に準備が必要。集まったメンバーで気軽に体を動かしたい。
- ・ 体を動かす場が欲しい。勉強など滞在できる場所は学校の図書室や図書館などがあるが、体を動かすことができる場はない。
- ・ バスケットボールやテニスなど使用されていない施設を気軽に使用できるようになると良い。
- ・ 気軽に運動ができる。

(新たな学び・体験の出会い)

- ・ 知ることは興味関心を広げる機会につながり重要である。

(新たなことへのチャレンジ)

- ・ やりたいことができるがことが重要。
- ・ 興味関心のあることに、もっとチャレンジしたい。
- ・ 大人の意見で断念しない。大人はダメと言わない。
- ・ 自分たちでバザーをするのは楽しそう。やってみたい。

子育て当事者

(地域資源を生かした学び・体験)

- ・ 自然の家などの施設が使えることを市民はしていないのでは。
- ・ 市内の資源活用したこどものツアー等の開催

(移動手段)

- ・ あさ GO の活用（学校や学童保育からの習いごとへの移動、部活動地域展開後の移動）

(その他)

- ・ こどもにどのような体験・学びがあるか伝わり、こどもが選べるようになれば良い。
- ・ 親の状況に関わらず参加できること。

(4) こども視点のまちづくり

①こどもの意見聴取・反映の場、対話の場づくり

小学生

- ・ 未来のことを考えるクラブをつくる。
- ・ こども同士で、遊べる場所やみんなに関わることをみんなで話し合いたい。
- ・ 友だち同士で人権の話をしたい。

中学生

- ・ 「こどもあさご未来会議」のような対話の場があったら参加したい。
- ・ 気軽に参加できるほうが良い。「こどもあさご未来会議」のような場が良い。
- ・ 月に1回程度は「こどもあさご未来会議」のような意見が言えたり交流できたりする場があると良い。
- ・ ユースカウンスルのような場があれば参加したい。こどもの意見を言わないと伝わらないから。
- ・ ユースカウンスルは同じ世代の人や同じ学校の人たちとできると共感してもらいやすく、発言しやすそう。
- ・ 場の空気を乱さないように、浮いてしまわないように話すときに気を使っている。気を遣わずに自分の意見を話せることが大事。
- ・ 定期的は無記名でアンケートがあれば自分の意見を伝えやすい。

高校生

- ・ 高校生議会は時間をかけて準備しているにも関わらず、パフォーマンス的なところがあって残念である。
- ・ 高校生が考えることは財源等もあってできないことは理解できるが、どうやってできるのか等、実現に向けて対話を重ねながら進めることが必要ではないか。
- ・ 自分の意見を言えることは大切。言わないと伝わらない。

子育て当事者

- ・ こどもがやりたいことを大人・地域が手伝う、支える。
- ・ 企画段階からこどもで。やりがいある。
- ・ こどもが提案できる場づくり。（与布土地域ではこどもの意見により防犯灯整備や与布土みんなの広場を地域の大人での見守りにより開催している。小学校6年生の意見から始まったが、中学生になっても参加している。）

②市政等（こどもの居場所・遊び・学び・体験以外）に関するこどもの意見

小学生

- ・ 図書館の本をリクエストできる場が欲しい。欲しい本がない。
- ・ 図書館に人気の本が少ない。新しい本や漫画の本を置いてほしい。
- ・ 図書館に赤ちゃんの本が少ない。
- ・ 地震や山火事で逃げられる場所等を知りたい。（シェルター、竹やぶ、消火器等）

中学生

- ・ 最寄りのバス停がなくなった。あさ G0 の使い方が分からない。
- ・ 生野体育館が暗い。

③学校に関するこどもの意見

小学生

- ・ 小学校のクラブ活動の時間数が少ない。
- ・ 小学校のクラブ活動を自分たちで決めて作った。（生野小学校）
- ・ 学校の遊具を増やしてほしい。ボール等を上級生が先に取って下級生は遊べない。
- ・ 放課後に体育館が自由に使えない。自由に使って遊びたい。
- ・ 学校の卓球台を決められた日以外や休み時間も使いたい。
- ・ 修学旅行もっと遠くへ行きたい。近畿圏外など家庭でなかなか行けないところに行きたい。
- ・ 一斉下校で喋っちゃダメというルールがある。もっと楽しく登下校がしたい。

中学生

- ・ 自分に合わない大人や指導者もいる。選べると良い。（部活の外部講師について）
- ・ 学校帰りに寄り道してはいけないルールだが、帰りに寄り道できると良い。移動できる交通手段がないと、一度帰ると遠いので行きづらい。
- ・ こどもたちだけでゲーセン etc 行ってはいけないなど、学校のルールは気にしていない。無視してやっている。
- ・ ルールを破らなくても色々なことができるようになりたい。
- ・ ルールがあって自分がしたいことができない。ケガはつきもの。もっと自由にさせてほしい。（自然での遊びについて）
- ・ 学校に自分たちの意見を言ってもムダと思ってしまう。
- ・ 言っても無駄という空気がある。
- ・ 「生徒会」ってなんだ。自分たちでやりたいことをやろうと生徒会に入ったのに、やりたいことができていない。
- ・ 体育祭や文化祭を盛り上げるようにしたい。
- ・ 学校のルールを変えたいが、生徒手帳がないのでルールが分からない。

- ・ ルールを変えたいけど変えられない。時間がない（文化祭や体育祭準備などで日々忙しくて手が回らない）。
- ・ 校則を変えたい。
- ・ 自分たちのルールは自分たちで作りたい。
- ・ 校舎に網戸がないから虫が入ってくる。網戸をつけてほしい。
- ・ 夏に部活に行くのが暑い。あさGOが使えると良い。
- ・ 自転車通学の範囲のルールを柔軟にしてほしい。同じ地区でも遠いところもある。

④その他のこどもの意見

小学生

- ・ イオンの本屋さんがなくなった。本屋さんが欲しい。

中学生

- ・ 大人がルールを作らないで欲しい。自分たちでルールを考えたい。
- ・ こどもの活動の場に大人が参加することで、こどもが参加しづらくなった。こどもだけの場も大切。
- ・ 学校近くの歩行者用信号の青の時間が短い。
- ・ 通学路に防犯灯がなくて暗い。
- ・ 通学路の草刈りをしてほしい。通りづらい。
- ・ 通学路の空き家が多く怖い。
- ・ 電車の本数を増やして欲しい。
- ・ イオンの書店が閉店した。今は養父市まで行っている。書店が欲しい。図書館で借りるのは期限がある。自分のペースで読みたい。